

念願の小牧ワイナリー 「ななつぼし葡萄酒工房」がオープン!

— 『小牧ワイナリー ななつぼし葡萄酒工房』 —

小牧ワイナリー「ななつぼし葡萄酒工房」では、5月3日から5月6日にかけてオープニングイベントとして子ども向けイベント、模擬店、小牧ご当地キャラクターの出演など楽しい催しが目白押し。またショップ、カフェも併設されて楽しい空間に! 今後この地域の人気スポットになりそうな予感がします。

背景

社会福祉法人AJU自立の家は、身体障がい、知的障がい、精神障がいのある人たちの自立を25年間支援し、多くの事業を手掛けてきました。その中の一つが「ななつぼし葡萄酒工房」です。知的障がいのある人たちが主体になってブドウを栽培し、ワインを醸造してもらい、販売しています。これまでは岐阜県にある多治見修道院の畑を借りてブドウ栽培をしてきました。さらに利用者の賃金アップを目指して、圃場を拡大しようと多治見市近郊でブドウ栽培の適地を探していたところ、古くから果樹栽培で有名な桃花台のある小牧市野口地区での実現となりました。

取り組み

知的障がいの仲間の安定した賃金の保証と就労を通して、地域社会で社会の一員としての生活ができるようにするという意味で、全国でも第6次産業と障がいのある人の就労を結び付けるモデルケースになります。すでにピアの仲間たちは社会の一員として、この5年間連続して収益の一部を財団法人日本野鳥の会に寄付しています。

仲間たちは、ブドウの手入れから収穫までの一連の作業、ワインの梱包、発送作業をしています。これからは野菜、米の栽培、養蜂、さらにはワイナリーに併設したショップ、カフェの店員にも挑戦するという事です。

ワインの樹の会

昨年からブドウの木のオーナー制度「ワインの樹の会」を作って会員を募集しています。すでに多くの方の参加を

得て、昨年1年で1000本のブドウの木を植えることができました。今年はさらに700本を追加して植える予定ということです。順調にいけば秋に収穫したブドウから小牧ワイナリー第1号のワイン醸造に入ることです。(現在、醸造免許申請中)

地域との協調・共生

将来的には、地域の皆さんと小牧ワイナリーが連携して、農作業に興味のある人たちと共に連携をとって、農作業ボランティアセンター「あくりぼ(仮称)」をつくりたい、そこでできた野菜、米などの農作物を販売する「ベジタウン(仮称)」をやってみたく、夢は広がっているようです。耕作放棄地を有効利用して、退職された方を中心に生きがい、やりがいを持っていただきながら、この地域の活性化につながることを目標です。

取材者から一言

ドラマ「マッサン」は、奥さんが外国人ということもあり話題になりました。同じようにピアワインを通じて「知的障がいのある仲間たちの物語」として日本中に広く知れわたり、同じ障がいのある人たちへのエールを送ることができたら、事業者として小牧ワイナリーの関係者の喜びになるのではないかと思います。また、農業をしてほしいニーズとしたいニーズを結びつけるベジタウン構想は、ボラみみの取り組みとも相通じるもので、とても共感できるものでした。

Information

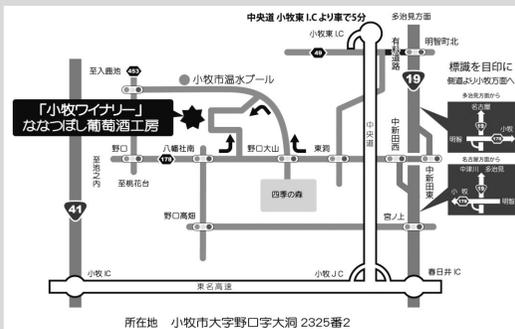
小牧ワイナリー
ななつぼし葡萄酒工房
小牧市大字野口字大洞2325 2
TEL:0568-79-3001
FAX:0568-79-3002
E-mail:komakiwinery@aju-cil.com



春の葡萄酒まつり

5月3日 日 ~ 6日 水
11:00 ~ 15:00

入場無料
小牧市温水プール第3駐車場からシャトルバスがあります。(駐車場は、当日イベント開催時のみ利用可能です)



第29回

企業の社会貢献活動の現場から



隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第29回となる今回は、株式会社 愛知銀行です。

金融教育から地域貢献まで幅広く活動!

株式会社 愛知銀行 総合企画部広報グループ 内藤 ひとみ

当行では、銀行と従業員組合の双方で、「地域に密着した存在感のある銀行」を目指し活動しています。

【エコノミクス甲子園】

「エコノミクス甲子園」とは、エンタテインメント性を備え、金融経済を楽しみながら学び、今後社会人として必要となる金融経済知識習得のきっかけにしようことを目的とした高校生対象のクイズ大会です。

全国40の銀行で地区予選が行われ、優勝チームが東京での全国大会に集結し、見事全国大会で優勝を果たすとニューヨークへの研修旅行を手に行うことができます。

当行は第2回から東海・愛知大会を主催しており、今年は11校24チームが参加し、愛知代表の滝高校のチームは全国7位に入賞することができました。

来年は節目の10回大会!引き続き、当行はエコノミクス甲子園を応援します!

【五条川の清掃活動】

従業員組合が行っている地域貢献活動は、エリア毎で展開している継続した活動です。その中でも、岩倉市の「水辺を守る会」主催の五条川清掃への参加は今年で7年目を迎え、現在では、水中清掃用のウェーダー(胴長靴)を寄贈する取り組みも行うなど、地元の方々から認知され、温かいお言葉をいただいている活動となっております。

地域貢献活動は、地元の方々との交流が図れるよい機会であり、これからも地域に根ざした活動を行ってまいります。



エコノミクス甲子園



五条川の清掃活動

株式会社 愛知銀行 総合企画部
〒460-8678 名古屋市中区栄3-14-12 TEL:052-242-2237 FAX:052-251-7606

..... 次回は、株式会社名古屋銀行をご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

特定非営利活動法人 あいちかがいっこ

法人設立

設立時期 2014年11月25日

代表者

内田 朋代

連絡先

〒486 0846
春日井市鳥居松町2 238 ちょこかん内
TEL: 0568 84 2633(10:00~15:00)
E-mail: kasugai_kosodate@yahoo.co.jp

活動分野

まちづくり、生涯学習、情報化社会

活動目的

子育て孫育てに関わる全ての人の「はじめの一步」を助け、「助け合う」「支え合う」「認め合う」「見守る」地域作りを基本理念に地域と連携し、繋がる・広がるネットワーク作りに関する事業を行い、子どもと大人、個と社会それぞれが、「支え合い・助け合う」ことができる環境を目指しています。

活動内容

- (1)春日井市内の子育て支援団体を集めた「プチサミット」を主催
- (2)春日井ブランドプロジェクトの一員として参加
- (3)尾張地区最大のイベント「ママの文化祭®」の主催

団体PR

あなたの「何かやりたい!!」その気持ちに寄り添い、「はじめの一步」を応援したいと思い立ち上がった子育て支援団体です。「地域を巻き込み、みんなで子育て」をキャッチフレーズに、あらゆる世代の人たち、企業・行政・地域と連携し、地域が活性化する取り組みを一緒に考え活動しませんか?子育て支援は地域をガンキにします!

ボランティア随時募集中です!(「第3回 ママの文化祭®」運営、親子広場&託児ボランティアなど、ぜひお問合せください!)担当:内田・松元